

## ただのお金のはなしではない

マタイ福音書 25 : 14-30

(そのとき、イエスは弟子たちにこのたとえを語られた。) 「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて、一人には五タラントン、一人には二タラントン、もう一人には一タラントンを預けて旅に出かけた。早速、五タラントン預かった者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントンをもうけた。同じように、二タラントン預かった者も、ほかに二タラントンをもうけた。しかし、一タラントン預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。

さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。まず、五タラントン預かった者が進み出て、ほかの五タラントンを差し出して言った。『御主人様、五タラントンお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントンもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』

次に、二タラントン預かった者も進み出て言った。『御主人様、二タラントンお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントンもうけました。』主人は言った。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』ところで、一タラントン預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントンを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』主人は答えた。『怠け者の悪い僕だ。わたしが蒔かない所から刈り取

り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。それなら、わたしの金を銀行に入れておくべきであった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。さあ、そのタラントンをこの男から取り上げて、十タラントン持っている者に与えよ。だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』」

### 説教

結果を求めることなく、いきあたりばばったり生きてきた私にはとてもマタイ 25 章で語られる天国には入れそうにありません。

先週は天国を目的にしない生き方があってもいいじゃないか。いつも十分な油を備えている「賢いおとめ」でなくてもいいだろう、と結びました。今週のタラントのたとえは<目的と手段>テーマから<原因と結果>テーマに変わっています。結果をだせば天国にとどまれる、しかし結果が出なければ天国追放となる。追放になる原因とはタラントを増やさないことだ、というたとえになっています。

金を土に埋める（着服しないで全額返す）でもこれが天国追放の原因になって1タラント男は追い出されています。その一方で5タラントを10タラントに増やした者は賞賛されています。財産を増やすことが善で、そのまま大切に保管していた者は悪という結果になっています。天国のたとえというより、ブラック企業の内幕というかんじです。成績優秀な営業マンは賞賛され、ダメ営業マンはパワハラを受けて退職に追い込まれる話です。

やはり、イエスのたとえ話にでてくるこんなタラント次第の天国には行きたくありません。用意周到に油を準備して天国行きのキップを手に入れたり、天国でも金儲けに励まなければ地獄に墮とすぞと脅されるのならゴメンです。さて、イエスはどのような真意をもってこのようなたとえを話されたので

しょう。答えは来週の聖書朗読にでてきます。とても興味をひかれますが、  
難解な終末の教えです。

---